

## 別紙1

## 令和5年度 長野県栄養士会 生涯教育研修会日程

期日	No	時間	単位数	内容	講師	受講料	形式
第1回 6月18日 (日)	1	9:40 ～ 10:20	講義 1	<b>基本研修(必須)2-1</b> <b>長野県食育推進計画(第4次)</b> 【小林氏より】 長野県では令和5年3月に「長野県食育推進計画(第4次)」を策定しました。「信州の食でつながる、ひとつくり、地域づくり」を基本理念に掲げ、社会情勢の変化や新たな視点を踏まえながら、食育活動を担う様々な皆様の協力・連携のもと「誰一人取り残さない地域で支える食育活動」に取り組んでまいります。	長野県健康福祉部 健康増進課 副参事兼課長補佐 小林晶子氏	会員 1,000円	ハイブリッド形式 (Web & 長野県栄養士会会議室)
		10:30 ～ 12:00	講義 1	<b>実務研修 46-107</b> <b>若い女性のやせと低栄養が引き起こす栄養問題について</b> 【林先生より】 日本人の若い女性の「やせ」の割合は主な先進諸国の中でも極めて高く、骨量の減少、早産や低出生体重児出産のリスク等との関連があります。そこで、プレコンセプションケア(将来の妊娠のための健康教育)を行い、リスクの高い妊娠を減らすことが重要です。世代を超えた健康づくりの観点から、若い女性の栄養・食生活の課題について考えます。	女子栄養大学 栄養学部 准教授 林 芙美先生	非会員 2,000円	
	13:00 ～ 14:30	講義 1	<b>基本研修 6-1</b> <b>いざという時どうする?～あなたの食と栄養～</b> 【齋藤先生より】 食は災害時においても、心と身体の健康、人と人の繋がりにとって重要である。しかし日本社会においては被災者の食・栄養支援の必要性につき共通認識は未だ乏しく、平時から多組織連携による仕組みづくりが急務である。財団の東日本大震災の復興支援の経験から、栄養士という専門職の重要性と期待値につきお話をさせていただきます。	(公財)味の素ファン デーション 被災地復興応援 事業統括 マネージャー 齋藤由里子先生	会員 1,000円 非会員 2,000円		
第2回 8月27日 (日)	4	10:30 ～ 12:00	講義 1	<b>基本研修(必須)2-5</b> <b>終末糖化産物(AGEs)と健康</b> 【石井先生より】 終末糖化産物(advanced glycation end products: AGEs)は、食後高血糖やAGEs関連食品の摂取などにより生成され、身体の様々な部位に蓄積し、老化に関与する物質です。動脈硬化進行因子として心血管系疾患発症にも影響します。AGEsを過度に増やさない食生活と生活習慣についてお話します。	長野県立大学 健康発達学部 食健康学科 教授 石井陽子先生	会員 1,000円 非会員 2,000円	
		13:00 ～ 14:30	講義 1	<b>実務研修 23-118</b> <b>人生最終段階の食支援 お食い締め</b> 【牧野先生より】 生物の最期は食べられなくなるのが自然な姿。ヒトも同様で、食べられる方がいる一方で、食べられない方や食べない方が良い方が存在します。看取り期の支援は、「食べること」は一つの手段であり、その本質は「大切な人同士が死に別れるストレスの中で、後を生きる者が後で悔やまぬようけじめをつける」もの。私が実践している「お食い締め」支援は、対象者の自己超越感を促し、家族やスタッフの死生観を養う、ライフサイクルの舞台のひとつと位置付けております。講演で紹介する事例は、われわれに高齢者が生きる意味、死んでいく意味を示唆してくれるでしょう。	愛知学院大学 心身科学部 健康科学科 准教授 牧野日和先生	会員 1,000円 非会員 2,000円	
	6	13:00 ～ 14:30	講義 1	<b>実務研修 21-105</b> <b>スポーツ現場における実践活動と課題</b> 【柳沢先生より】 近年、スポーツ現場において栄養サポートのニーズは成長期の子どもからトップアスリートまで広がりを見せています。本研集会では栄養士による実践活動を紹介し、さらにその課題についても触れます。	相模女子大学 栄養科学部 健康栄養学科 教授 柳沢香絵先生	会員 1,000円 非会員 2,000円	
第3回 11月12日 (日)	7	14:45 ～ 16:15	講義 1	<b>実務研修 23-101</b> <b>CKD患者の栄養管理について</b> 【熊谷先生より】 当院では2007年からCKD外来を開設しており、現在まで約700名の患者を登録、60歳以上の透析患者の比率は60%を超えています。禁煙、栄養、血圧、貧血治療、尿酸・脂質、肥満・メタボ対策、浮腫・体液過剰の是正、血糖管理など多因子に介入し進行を防いでいます。食事指導はまず食塩9g、タンパク質は男性60g、女性50gで行っており、家庭血圧と24時間蓄尿で評価しています。	社会医療法人 健和会 健和会病院 熊谷悦子先生	会員 1,000円 非会員 2,000円	